

平成20年8月7日

技術情報

長崎県病害虫防除所長

平成20年度病害虫発生予察技術情報第1号

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ・ツヤアオカメムシ） 当年世代の発生量及び果樹園への飛来時期の予測について

本年は果樹カメムシ類の発生が少ない状況が続いてきましたが、8月後半以降は越冬世代成虫から当年世代成虫に入れ替わる時期となります。

現在、当年世代は主にヒノキきゅう果上に生息し、きゅう果が餌として好適な間はきゅう果上にとどまっていますが、吸汁が進むときゅう果が餌として不適となり、ヒノキから離脱し果樹園へ飛来します。

今後の発生について、下記のとおり予測されますので、防除指導の参考にしてください。

記

1 当年世代成虫の発生量について

(1) 6月下旬に実施したヒノキきゅう果着生状況調査の結果、県内14地点の平均着生程度は4.4（平成3.1）で平成よりやや多い。

注）着生程度の基準 多：5、やや多：4、並：3、やや少：2、少：1

(2) 当年世代の発生量は、ヒノキきゅう果の着生量との相関が高く、今年の果樹カメムシ類の発生量は平成よりもやや多いと予測される。

(3) 7月下旬に実施したヒノキきゅう果ビーティング調査の結果、1枝当たりの寄生虫数は2.1頭（平成1.2頭）で平成よりもやや多い。

2 果樹園への飛来時期について

7月28～29日に実施したヒノキきゅう果の口針鞘数調査の結果、県内14地域の予測飛来日は9月4～18日（表）である。

表 各地域の果樹園への予測飛来日

地域名	口針鞘数	予測飛来日	地域名	口針鞘数	予測飛来日
長与町岡	2.3	9月12日	東彼杵町赤木	4.6	9月4日
時津町子々川	2.7	9月11日	佐世保市針尾	1.8	9月14日
西彼町小迎	1.3	9月16日	佐世保市宮	1.8	9月14日
西海町木場	1.3	9月16日	瑞穂町伊福	1.3	9月12日
多良見町東園	2.1	9月13日	国見町百花台	0.6	9月17日
諫早市長田	1.0	9月16日	有家町新切	3.4	9月8日
大村市今村	0.4	9月18日	北有馬町田平	0.9	9月16日

注1 7月28日、29日に各地域5カ所（1カ所20果）を調査した。

注2 1果当たりの口針鞘数が25を超えるとカメムシはヒノキきゅう果から離脱する。

注3 予測は福岡県農業総合試験場が作成した予測式を利用した。

3. 防除上注意すべき事項

- (1) 上記の飛来予測日を参考に、園の見回りや防除の計画を立てる。
- (2) 飛来量や飛来時期は同一地区内でも園によって異なる場合があるので注意する。
- (3) 近年、ミナミトゲヘリカメムシの発生が問題となることがあるが、それはチャバネアオカメムシやツヤアオカメムシと異なる発生様相を示すので注意する。

病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせは、電話でお願いします。

長崎県病虫害防除所 TEL：0957-26-0027